

# 「あるく みる まく」 そして対話する



(左) 塩屋湾 (右) 竹富島

## 宮本常一 流 フィールドワークで 地域の未来をつくる!?

2025.

# 8.9 土

入場無料  
14:00~16:00  
(開場 13:30)

講師 森下 愛子 (民俗担当学芸員)

会場 沖縄県立博物館・美術館  
3階 講堂

受付 当日先着 (定員 200名)

お問合せ 098-941-8200  
〒900-0006  
沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

“フィールドワーク”は学校の「探究学習」や地域づくりで注目される手法です。民俗学者・宮本常一（1907-1981）は全国の離島や農山漁村などをフィールドワークで調査し、地域の人々と語り、その詳細を記録しました。復帰前後の沖縄にも訪れ、特に1969年に沖縄本島や周辺離島を歩いた記録は一冊の本にまとめられています。

本講座では、宮本常一とその調査手法について紹介し、そこから身近な地域の捉え方、地域での活かし方を一緒に考えていきます。

キーワード #宮本常一 #フィールドワーク #民俗学 #地域づくり

次回予告

2025. 9.13 土 14:00 ~ 16:00 (13:30 開場)

「王権の痕跡—第一尚氏ゆかりの遺跡を辿る—」

講師 山本 正昭 (考古担当学芸員)

※駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

※席数に限りがありますので、ご入場いただけない場合があります。

※会場内は空調の影響で寒くなる場合があります。

